

横付けフルリクライニングキャリー FC-220

取扱説明書 保証書付き

このたびは、ハビナス「横付けフルリクライニングキャリー FC-220」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用いただく前に、この説明書をよくお読みいただき、内容をよく理解された上で正しくお使いいただきますようお願いいたします。
なお、取扱説明書は、必ず大切に保管してください。



目次

1. おもな機能と特長	2	8. シートの装着方法	16
2. 各部位の名称	3	9. 保管方法	17
3. 安全にお使いいただくために	4	10. オプション品について	17
4. 組み立て方法	8	11. 仕様	18
5. 各部機能のご使用方法	9	12. アフターサービスについて	18
6. ご使用前の点検	14	13. 製品の保証について	19
7. お手入れの方法	15	保証書	20

1. おもな機能と特長

居住性と介助性を重視したフルリクライニング型車いすです。

◎横付け機能

- ①横付けペダルを踏み込むことで横付けキャストが後車輪を持ち上げ、ベッドなどに簡単にぴったりと横付けすることができます。狭い場所での方向転換にも便利です。
- ②やさしさプレートを使用して横付けキャストを格納することで、横付け機能をやさしく解除することができます。

◎リクライニング性

- ①5分割シートによりご使用者にやさしいリクライニング姿勢を保持できます。
- ②膝上げ機能により、リクライニング時の前ズレがなく、座位を保持できます。
- ③独自のリクライニング機構により、背中 of ズレがなく、腹部の圧迫が軽減されます。
- ④シートは、フルフラットまでリクライニングできます。
- ⑤フットサポートは、ワンタッチでフラットにすることができます。

◎居住性

- ①ホールド感が高く、クッション性の良いシートをスプリングで支えることで優れた居住性をご提供いたします。
- ②頭部バックサポートは、無段階に角度調整が可能です。

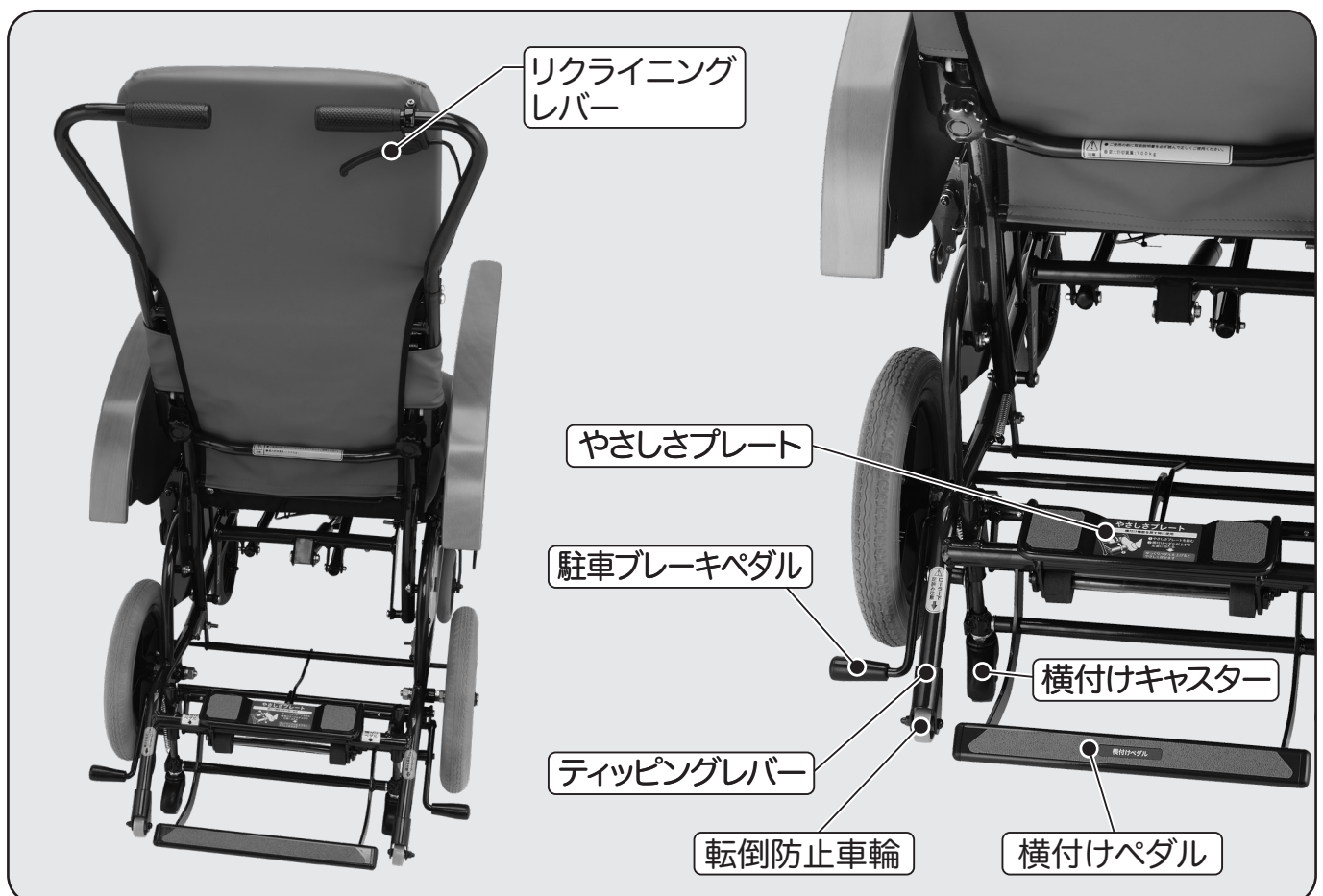
◎安全性

- ①手挟み防止と身体をサポート性に優れたサイドガード付きです。
- ②駐車ブレーキペダルは、バックサポートをリクライニングさせた状態でも操作がしやすい、ペダル構造です。
- ③横付け機能を解除しても自動的に駐車ブレーキがかかるため、ブレーキのかけ忘れを防ぐことができます。

◎機能

- ①レッグサポートは、バックサポートの傾きに連動して動作します。また単独操作も可能です。

2. 各部位の名称



3. 安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、ご使用者および他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を危害や損害の大きさと危険の程度によって「警告」「注意」「禁止」「指示」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みになり、必ず守ってください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。物的損害とは、家屋・家財およびペットに関わる拡大損害を意味します。

禁止

製品使用上、禁止とする行為を示します。

指示

製品使用上、必ず行っていただきたい行為を示します。

操作・走行時について

警告

- 本製品の取扱いは、介助者が必ず行ってください。
- 本製品は一人用に設計されています。二人以上では使用しないでください。
最大使用者体重(積載物を含む)は100kgです。
- スピードを出さないでください。転倒、ケガにつながります。
- リクライニング操作をするときは、ご使用者の転落、転倒、物の挟み込みに注意してください。
- フットサポートおよびレッグサポートの上には、絶対に乗らないでください。また、座面以外に腰かけないでください。バランスをくずし転倒するおそれがあります。

禁止

- 本製品の上で立ち上がったたり、製品を踏み台代わりにご使用になることは絶対にお止めください。
- 本製品の上で、心臓マッサージなどの耐荷重を超える負荷のかかる行為はしないでください。
- 本製品に、他社の製品やオプション部品を組み合わせて使用しないでください。
- 改造・分解しないでください。破損、ケガにつながります。
- 車いすを火気に近づけないでください。ヤケド・火災・故障の原因になります。
- 浴室など水がかかる場所や、湿度の高い場所では使用しないでください。雨にさらされる屋外での使用も避けてください。また、水洗いはしないでください。故障、錆の原因になります。

指示

- ご使用中に異常を感じたらすぐにご使用を中止してください。
- 木製の床に本製品を保管するときは、マットなどを敷いて前輪キャスターが床に直接触れないようにしてください。
床の材質によっては、数時間同じ場所に置くと、前輪キャスターが床にシミを付けるおそれがあります。

移動操作時について

⚠ 警告

- 移動するときは、急な方向転換などはしないでください。
- 移動するときは、ご使用者の手や足が座面からはみ出さないようにしてください。周囲の壁や器具にぶつかりケガをするおそれがあります。
- 移動するときは、床面の溝などに前輪キャストが脱輪しないようにしてください。
- スピードを出さないでください。スピードが出ているときの急カーブ・急ブレーキは、転倒し大変危険です。
- 下り坂で介助するときは、後ろ向きにゆっくり降りてください。
- 停止操作は急停止せず、ご使用者が転倒しないよう徐々にスピードを落とし、停止してください。

⊘ 禁止

- アームサポートを押して移動しないでください。故障の原因になります。
- 急な下り坂では、使用しないでください。

停止時について

⚠ 警告

- 停止時は、必ず駐車ブレーキをかけてください。駐車ブレーキをかけ忘れると、本体が動きだし、衝突やご使用者の転倒事故につながるおそれがあります。
- 傾斜している場所に駐車しないでください。
- 駐車ブレーキの操作は、駐車ブレーキペダルが止まる位置まで確実に行ってください。
- 駐車ブレーキをかける場合は、床面の平らな場所をお選びください

駐車ブレーキペダルを踏むと駐車ブレーキがかかり、上へ戻すと解除されます。



移乗時について

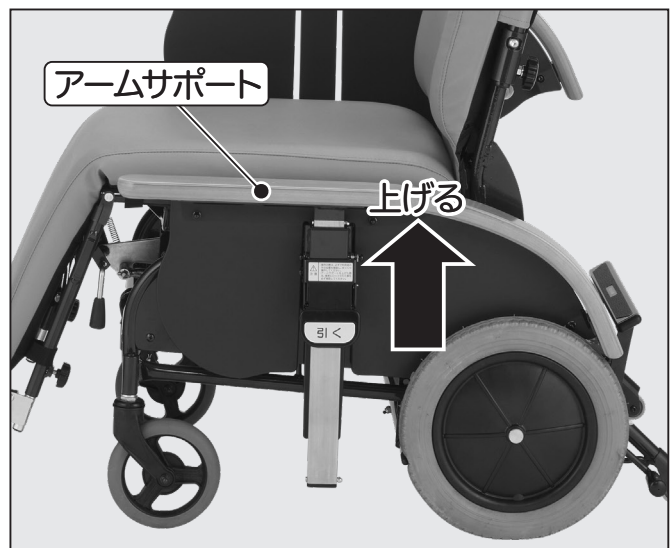
⚠ 警告

- フルリクライニング状態で足側または頭側から移乗しないでください。本体の転倒やケガにつながるおそれがあります。

⚠ 指示

- 移乗するときは、必ず駐車ブレーキをかけてください。
※横付け機能を使っている場合はブレーキがかかりませんので、横付け機能を解除してください。
- 移乗するときは、アームサポートに無理な体重や荷重がかからないように、アームサポートを下げてください。
- 移乗するとき以外は、必ずアームサポートをロックされる状態まで上げて使用してください。

アームサポートがロックされるまで
引き上げます。



リクライニングについて

⚠ 警告

- 手や腕がアームサポートから外に出たままリクライニングまたは、起こす操作をしないでください。バックサポートフレーム、アームサポートなどにご使用者の手や腕を引っ掛けたり、挟むなどしてケガをするおそれがあります。
- リクライニングした状態で、バックサポート上に乗り込まないでください。本体が転倒、または、転倒防止車輪が破損するおそれがあります。

⚠ 指示

- リクライニングする際は、必ず駐車ブレーキをかけ、ご使用者へリクライニングすることを声かけしてから操作してください。

段差乗り越えについて

⚠ 警告

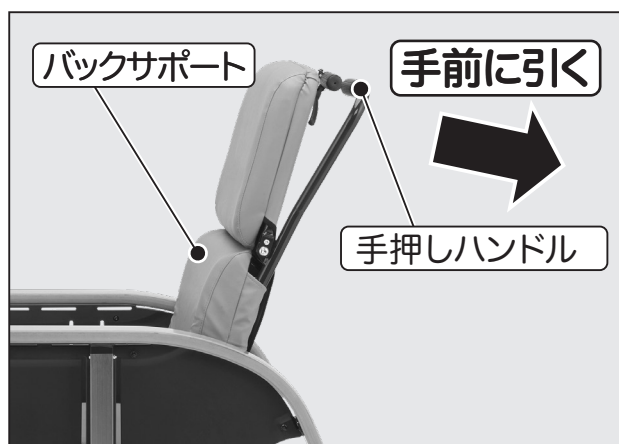
- 移動するときに、段差を乗り越える場合は、ゆっくりと静かに行ってください。

🚫 禁止

- 無理な力による段差乗り越えはフレームの変形・破損につながりますのでおやめください。

⚠ 指示

- 段差を乗り越えるときは、必ずバックサポートを起こしてください。
- ティッピングを行うときは、横付け機能を解除してください。
- 後車輪の空気圧が低いと前輪キャスターが上がらない場合がありますので、適正な空気圧にしてください。



足元のティッピングレバーに足を当てて、前方に押し出しながら、手押しハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを上を上げてください。

4. 組み立て方法

(1) 開梱

①製品本体(1台) ②取扱説明書1冊(保証書付) ③バックサポート固定用ノブボルト(2本)が入っていることを確認してください。

①製品本体



②取扱説明書



③バックサポート固定用ノブボルト



(2) 組み立て方法

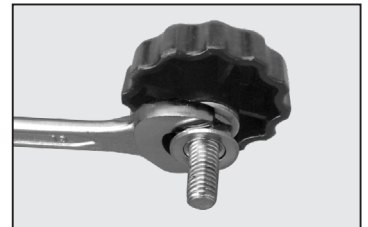
バックサポートの起こし方、たたみ方

①バックサポートを起こす

バックサポートを最後まで起こし、付属のバックサポート固定用ノブボルト(2本)にて左右のフレームを確実に固定します。ワイヤーやシートなどを挟み込まないように注意してください。



バックサポート固定用ノブボルト



ノブボルトは手で確実に最後まで締め込んでください。

なお、増し締めする場合には上図に示すように、手で締め付けた後、スパナ(13サイズ、工具は付属しておりません)などの工具にて締め付けることもできます。

②バックサポートをたたむ

バックサポート固定用ノブボルト(2本)を外し、バックサポートを前方にたたみます。外したノブボルト(2本)は、なくさないように保管してください。



5. 各部機能のご使用方法

① 駐車ブレーキのかけ方、解除の方法

- 駐車ブレーキペダルを踏むと駐車ブレーキがかかり、上へもどすと解除されます。



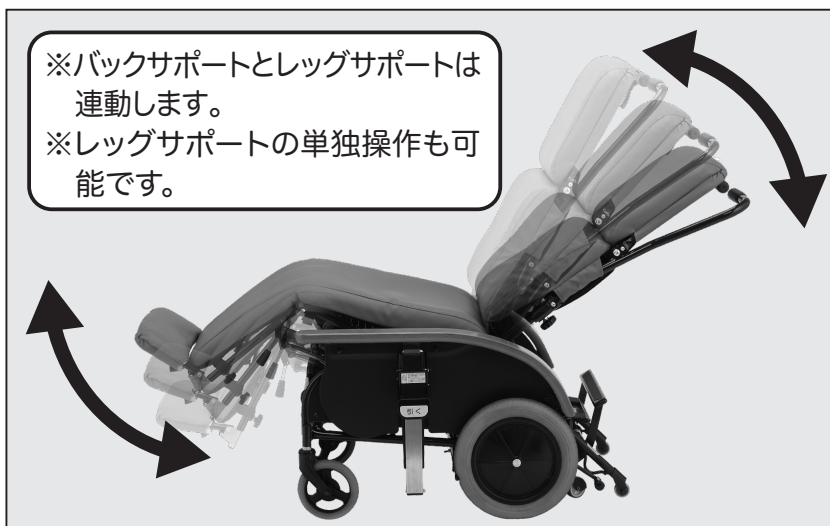
駐車ブレーキの操作は、駐車ブレーキペダルが止まる位置まで確実に行ってください。

※ 駐車ブレーキをかけた状態では、それ以上ペダルを踏み込まないでください。

② バックサポート角度の調節方法

リクライニングレバーをにぎるとバックサポートの固定が解除され、任意の角度に調節できます。

リクライニングレバーをはなすとバックサポートが固定されます。



⚠ 注意

- リクライニングの操作中は、ご使用者から目を離さないでください。
- リクライニングの操作は、必ず駐車ブレーキをかけてから行ってください。
- リクライニングの操作を行うときは、ご使用者の手や腕がアームサポートより外に出ていないことを確認してから操作してください。
- サイドガードと車いす本体の間に手や指が挟まっていないことを十分確認してから操作してください。

③ 頭部バックサポート角度の調節方法

頭部バックサポートは、無段階に角度調節ができます。

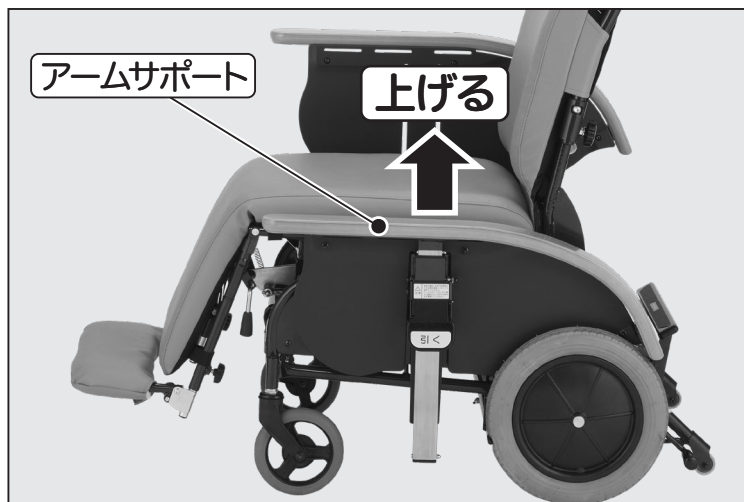
(0～15度)

頭部バックサポートを押すまたは引くと角度が変わります。



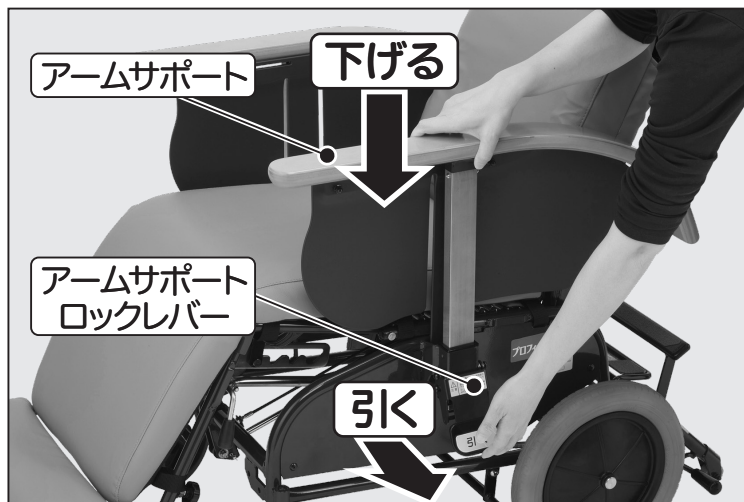
④ アームサポートの上下操作方法

● 上げるとき



- 1) アームサポート中央付近を手で持ってください。
- 2) アームサポートがロックされるまでゆっくりと上げてください。
- 3) ロックされたことを確認してください。

● 下げるとき



- 1) アームサポート中央付近を手で持ってください。
- 2) アームサポートロックレバーを手前へ引き、アームサポートをゆっくりと下げてください。

⊘ 禁止

- アームサポートに無理な体重や荷重をかけないでください。
- フレームが破損・変形したり、アームサポートの上下操作が固くなるおそれがあります。

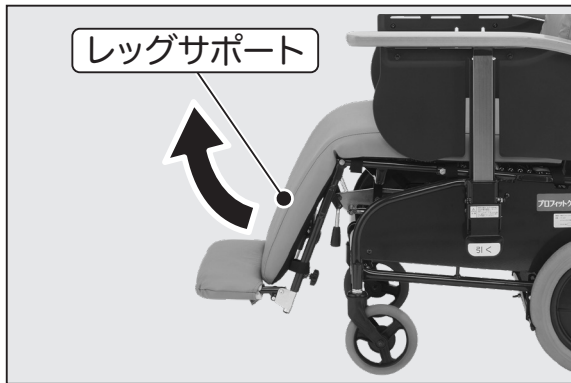
⚠ 注意

- アームサポートを上げた際は、確実にロックされたことを必ず確認してください。
- アームサポートの上下操作の際は、ご使用者の手や腕がアームサポートより外に出ていないことを必ず確認してください。また、介助者は指を挟まれないよう十分に注意し、ゆっくりと操作してください。
- サイドガードと車いすの間に手や指が挟まっていないことを十分確認してから操作してください。

⑤レッグサポートの角度調節の方法

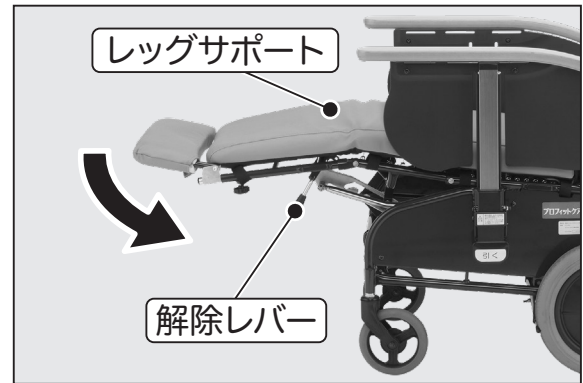
レッグサポートは、バックサポートと連動して動きますが、手動で3段階の調節ができます。

●上げるとき



レッグサポートを手で持ち上げてください。
3段階の調節が可能です。

●下げるとき



レッグサポートを持ち、解除レバーをにぎりながらレッグサポートを下げてください。



警告

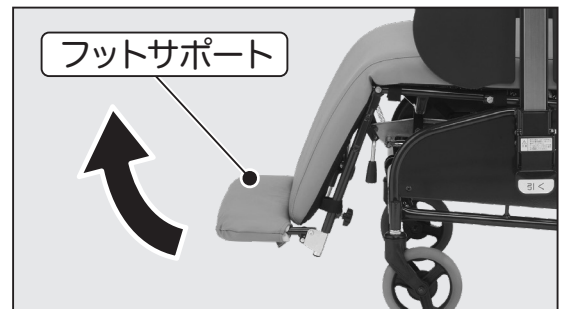
レッグサポートに乗る等して体重をかけないでください。バランスをくずし転倒するおそれがあります。またフレームが破損するおそれがあります。

⑥フットサポートの取り扱い方法

1) フットサポートを折りたたむ。

介助のさまたげになるときは、上方向にはね上げてください。

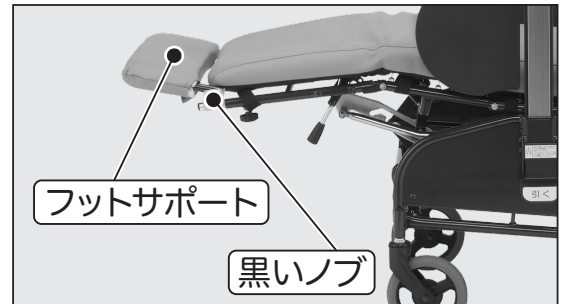
フットサポートは手動で簡単にはね上げられます。



2) フットサポートを水平にする。

リクライニングしたときに足を延ばせます。

フットサポートの内側にある黒いノブを引き、フットサポートを倒します。



元の位置にもどすと自動的にロックされます。



警告

フットサポートの上に乗る等して体重をかけないでください。バランスをくずし転倒するおそれがあります。またフレームが破損するおそれがあります。

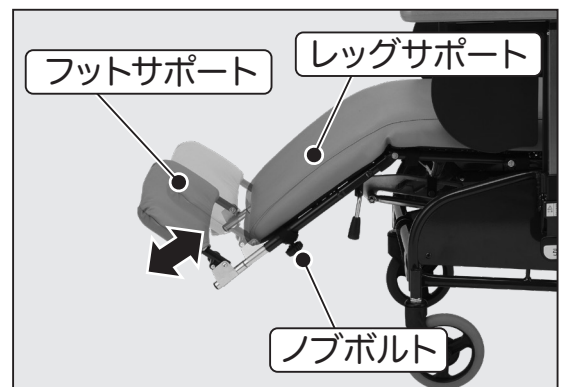
⑦フットサポートの高さ調節の方法

レッグサポートの裏側にあるノブボルト2本（左右）を緩め、フットサポートを上下させて使用者の足の位置に合わせます。調節後、フットサポートが動かないように2本のノブボルトを確実に締め付けます。



注意

フットサポートは地面より5センチ以下の高さにしないでください。走行中に段差に接触し、転倒するおそれがあります。



⑧横付け機能の使用法

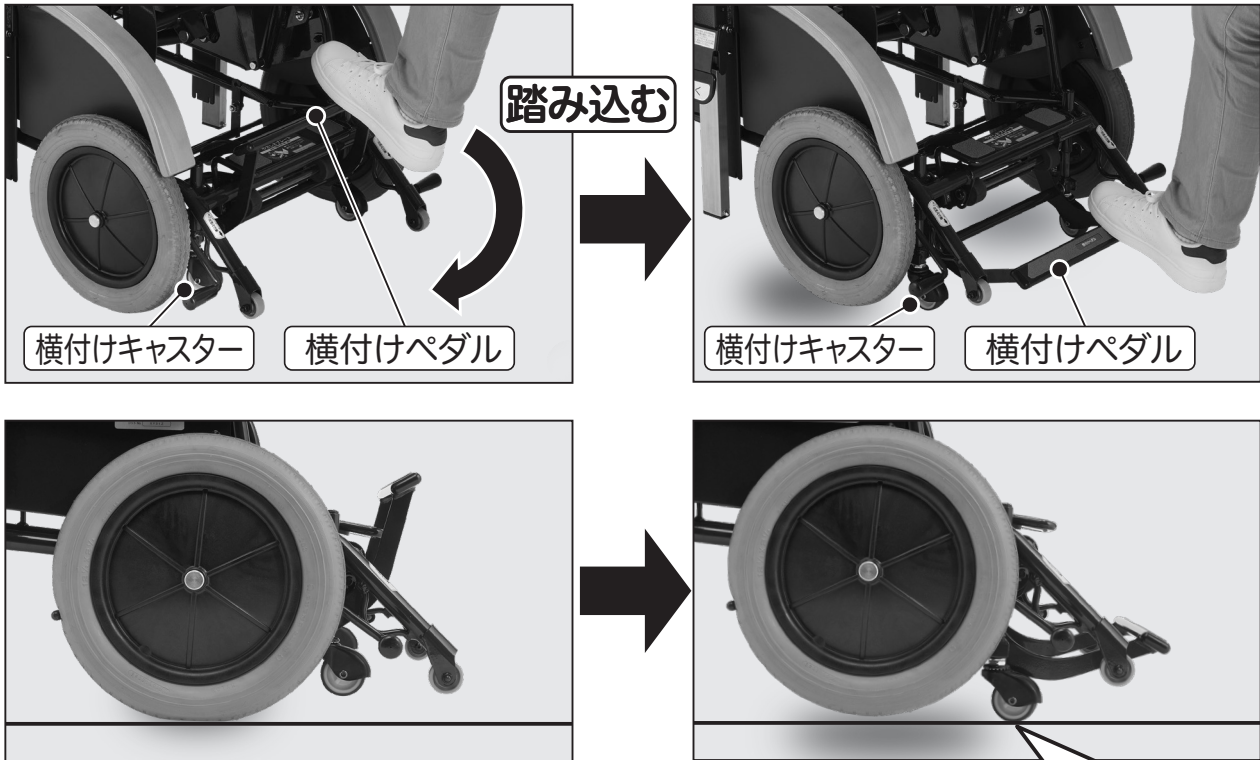
横付け機能は、ベッドなどに簡単にぴったりと車いす本体を横付けできる機能です。狭い場所での方向転換にも便利です。

次の手順に従って操作してください。

1) 横付けペダルを最後までしっかり踏み込む。

横付けペダルを踏み込むと、横付けキャストが床に接地し後車輪を浮かせます。

※横付けキャストが床に接地した状態では、それ以上ペダルを踏み込まないでください。

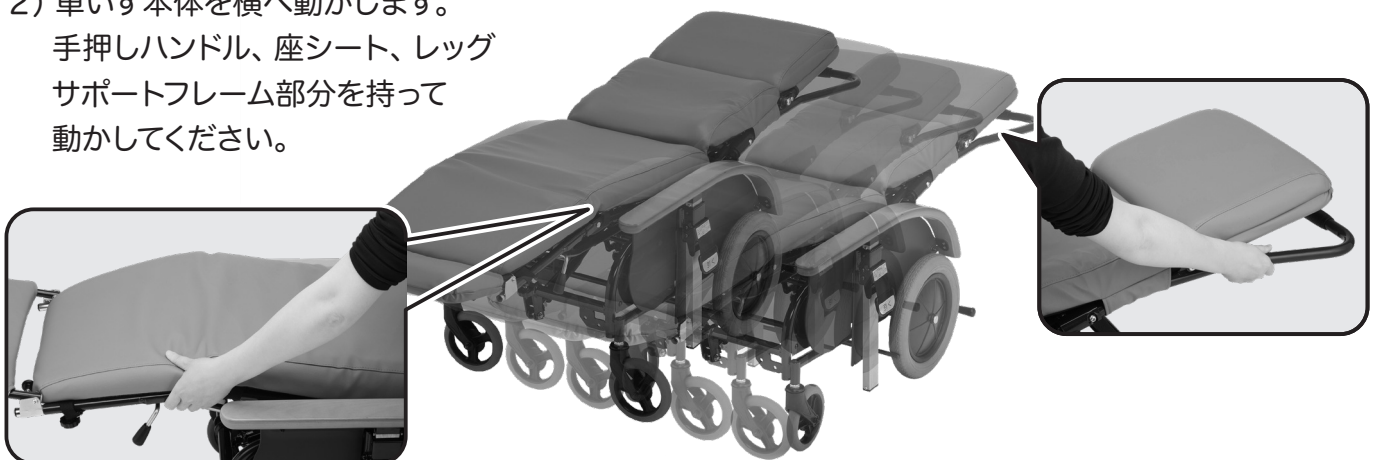


※横付けペダルを踏み込み、横付けキャストを出した時点で自動的に後車輪の駐車ブレーキがかかります。(ブレーキかけ忘れ防止機能)

横付けキャストが地面に接地し、後車輪が浮いている状態

2) 車いす本体を横へ動かします。

手押しハンドル、座シート、レッグサポートフレーム部分を持って動かしてください。



禁止

横付け機能を使った状態で移動するときは、アームサポートを持たないでください。アームサポートに無理な荷重がかかるとフレームが破損・変形したり、アームサポートの上下操作が固くなるおそれがあります。

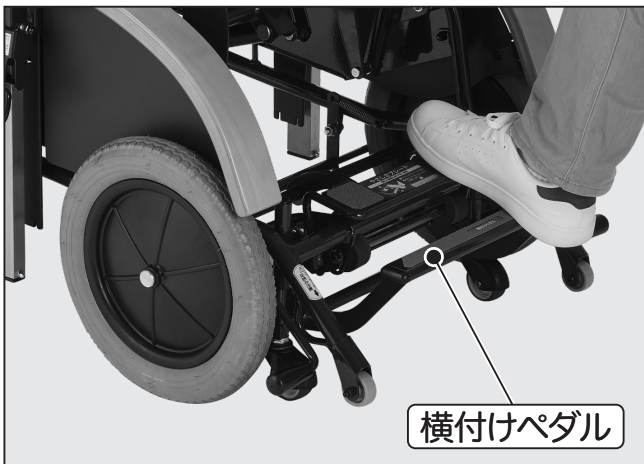
⑨横付け機能の解除方法

1) やさしさプレートにつま先をかけ、手前側に引き下げる。



※やさしさプレートは両端の滑り止めがある部分を踏んで操作してください。

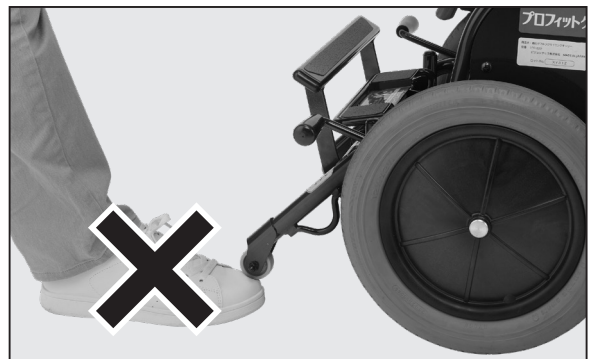
2) 横付けペダルが足裏に当たったことを確認し、横付けペダルを静かに引き上げると後車輪が床へ接地する。



※この時点で駐車ブレーキは自動的にかかっています。
移乗するときは必ず、駐車ブレーキをかけてください。

⚠ 注意

- 横付け機能は、横付けペダルを直接はね上げても解除可能ですが、本体への衝撃が加わりますのでご注意ください。
- 横付け機能を解除する際に、後車輪や転倒防止車輪で足を挟まないように注意してください。
- 横付け機能は、平坦で溝や段差のない所での短距離移動のみに使用してください。(例 居室内でのベッド横付け時)



6. ご使用前の点検

ご使用前に以下の点検を必ず行ってください。

点検を行い作動不良や今までと違う異音やガタつきがあった場合は、絶対にご使用せず、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ（株）までお問い合わせください。

①後車輪の空気圧の確認

駐車ブレーキの性能を維持するため、空気圧を確認してください。

適正空気圧 300kpa (3.0kgf/cm²)

②駐車ブレーキの作動確認

駐車ブレーキペダルを操作し、駐車ブレーキがかかることを確認してください。



注意

後車輪の空気圧が低いと駐車ブレーキがかからない場合や、駐車ブレーキのかかりが悪くなる場合がありますので、空気圧には十分注意してください。

③バックサポートが固定されていることの確認

1) バックサポート固定用ノブボルトでバックサポートが固定されていることを確認してください。

2) リクライニングレバーをにぎり、はなしたときにバックサポートが固定されていることを確認してください。

④可動部分の確認

前輪キャスター、後車輪、ブレーキ、本体フレームなどのガタつき、ねじの緩みがないことを確認してください。ねじが緩んでいると、ねじが脱落し、事故につながるおそれがあります。

⑤消耗品・交換部品の確認

それぞれの部品が交換時期になったときは、早めに交換してください。

新しい部品に交換する際は、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ（株）までお問い合わせください。

消耗品・交換部品

部 品 名	交 換 時 期
後 車 輪	ガタツキが大きくなったとき。タイヤ表面にひびや劣化が現れたとき。
前 輪 キ ャ ス タ ー	
横 付 け キ ャ ス タ ー	
転 倒 防 止 車 輪	
リクライニングケーブル	インナーがのびてしまったとき。アウターの破損がひどいとき。
シ ー ト	ほつれ、切れ目が発生したとき。ひどく汚れたとき。中材が劣化したとき。



注意

交換時期を過ぎてのご使用は、転落、転倒、衝突などの事故につながるおそれがあります。

7. お手入れの方法

本体フレーム・アームサポート・樹脂部のお手入れ

- ①汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。
- ②水などがかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。

注意

- 車いす本体を水洗いされますと、動作部の油が流れ落ち、動作に支障をきたすおそれがありますのでおやめください。
- 研磨剤入りたわし、金属たわしやクレンザーなど、キズが生じるおそれのあるものは使用しないでください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤は、使用しないでください。塗装がはがれるなど、製品を傷めるおそれがあります。
- アームサポートのパイプ部分の汚れがひどくなると、アームサポートの上下操作が固くなるおそれがあります。

シートのお手入れ

- ①シートは洗濯しないでください。
- ②シートの部分的な汚れは中性洗剤で拭き取ってください。

可動部のお手入れ

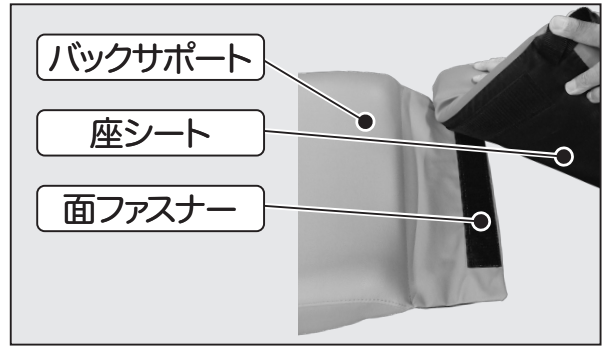
異音がする場合は車軸などの動作部に潤滑油を塗布してください。

注意

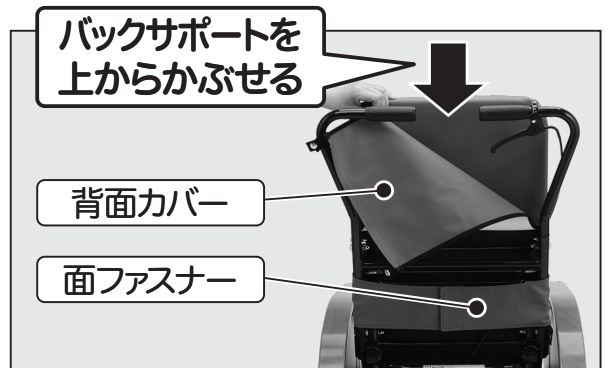
後輪タイヤ表面に潤滑油が付着しないように注意してください。駐車ブレーキが効かなくなるおそれがあります。

8. シートの装着方法 (取り外し方法は、下記の逆の手順で行ってください。)

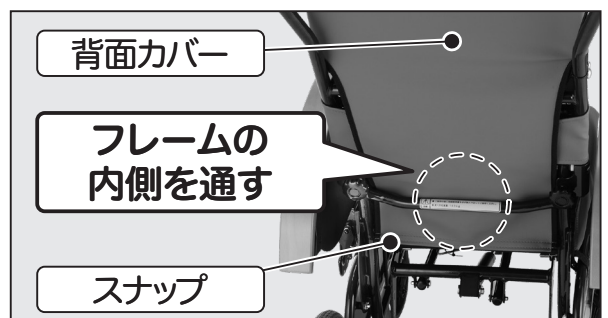
①座シートとバックサポートを面ファスナーで合わせてください。



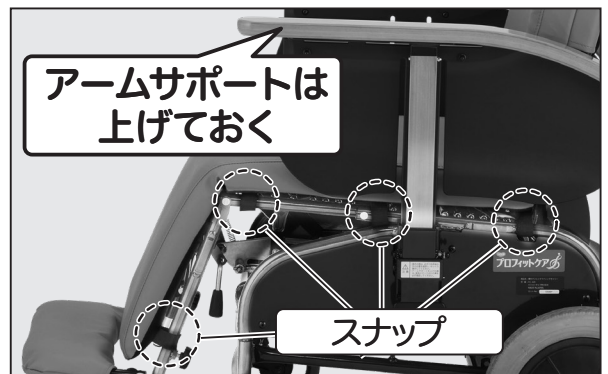
②頭部バックサポートを上方よりかぶせてください。右図に示すように頭部バックサポートの背面カバーの端を持ち上げておき、面ファスナーを合わせてください。



③背面カバーの端を本体後方フレームの内側に通し、左右2ヶ所のスナップで取り付けてください。



④座シートのスナップを本体フレームの片側4ヶ所の位置に取り付けてください。(反対側も同様)



⑤フットサポートカバーを前方よりかぶせて、面ファスナーを合わせてください。



9. 保管方法

- ①収納スペースが少ないときは、背もたれを折りたたんで保管してください。
- ②製品の劣化を避けるため直射日光が当たる場所、雨や水のかかる場所、ホコリの多い場所を避けた室内に保管してください。
- ③錆やタイヤの劣化を避けるため、湿気が多い場所や室温が著しく高い場所（40℃以上）には保管しないでください。

10. オプション品について

下記のオプションをご用意しています。ご購入、ご質問はお買い上げの販売店にお申しつけください。

- ①専用ヘッドサポート
- ②専用アームサポートカバー
- ③専用シートベルト（腰用）・（脚用）
- ④座奥行き短縮シート
- ⑤点滴棒ホルダー
- ⑥酸素ボンベ架兼点滴棒ホルダー

11.仕様

項 目		仕 様
材 質	本 体 フ レ ー ム	スチール／粉体塗装
	シ ー ト (表 地)	塩化ビニールレザー
	シ ー ト (中 材)	ウレタンフォーム
寸 法	全 長	1100mm
	全 幅	604mm
	全 高	1195mm
	座 面 幅	430mm (アームサポート内側459mm)
	座 面 奥 行	440mm
	前 座 高	521mm
	後 座 高	491mm
	アームサポート高	237mm
	リクライニング範囲	98～166° (無段階調節)
	前 輪 キャスター	6インチ
	後 車 輪	12インチ
	横付けキャスター	直径50mm
	シ ー ト 厚	50～60mm
	折りたたみ寸法	(全幅)604mm×(全高)680mm×(全長)955mm
製 品 重 量		37.0kg
最 大 許 容 体 重		100kg

※製品は、品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

12.アフターサービスについて

この製品についてのお問い合わせ

ご意見、ご質問はお買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ (株) までお問い合わせください。

修理を依頼されるには

お買い上げの販売店に、この製品の品名、シリアルNo.および故障状況を詳しくご連絡の上お申しつけください。

転居、贈答品などでお買い上げの販売店に修理を依頼することができない場合は、ピジョンタヒラ (株) までお問い合わせください。

13. 製品の保証について

- ①保証内容につきましては、次のページの保証書をご覧ください。
- ②保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理いたします。



シリアルナンバー位置

車いす本体 内側フレーム

保証について

保証書は日本国内において有効です。

この保証書は明示した期間、条件の下において無償での対応をお約束するものです。

従いまして、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

ご使用中、万一故障が発生した場合は、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ（株）へ現品に保証書をそえて、修理を依頼ください。

保証期間経過後の故障などの対応等につきまして、お分かりにならない場合は、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ（株）までお問合せください。

保証書は再発行いたしません。（大切に保管してください。）

保証書		
製品名	シリアル番号	保証期間
横付けフルリクライニングキャリー FC-220		お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お客様	お名前	お買い上げ日 年 月
	ご住所 〒	TEL
販売店	店名	TEL
	住所	

* 太枠内の記入なき場合は無効となりますので、必ずご記入ください。

* ただし、お買い上げ時のレシートまたは販売証明書の添付でも有効です。

保証規定

1. 保証期間は「お買い上げ日より1年間」です。
2. 製造終了から3年経過した製品や、修理に必要な部品の在庫が無くなった場合、既に修理対応ができない製品については、修理をお受けできない場合がございます。
3. 保証期間内に取扱説明書に基づく正常な使用方法において、万が一故障した場合には無償修理を行います。お客様の誤使用などによる故障においては有償修理となります。また依頼時点の状況により保証期間内であっても修理自体ができない場合もありますので予めご了承ください。
4. 保証期間内であっても下記の項目に該当するものは有償修理となります。
 - A. 保証書の提示のない場合(製品に同梱されている取扱説明書にあります)
 - B. 部品の自然劣化及び自然消耗による変退色
 - C. 可動部、消耗部品(タイヤ、キャスター等)の消耗、故障、損傷等
 - D. 縫製品の色あせ・やぶれ・すり切れ・ほつれ、その他の損傷及び破損
 - E. お客様の誤使用・保管不備・手入れ不足・改造や不当な修理による故障、損傷及び破損
 - F. 部品の紛失
 - G. 火災・地震・水害・落雷等、天災地変などの不可抗力による故障、損傷及び破損
 - H. 事故や落下などにより強い衝撃を受けたことによる故障、損傷及び破損
 - I. 故障の原因が本製品以外に起因する場合
 - J. 故障ではない箇所をお客様のご依頼により交換する場合
 - K. 本取扱説明書の必要記入項目に不備がある場合、字句を書き換えられた場合
5. 製品による二次的な損傷、損害などは本保証の対象外となります。
6. 本保証は、日本国内で購入し使用した場合においてのみ有効です。海外への修理サービスは、いたしかねます。
7. 本保証は、保証書に記載の販売店からお買い上げいただきましたお客様(贈答品については、当該お客様より贈答を受けた方)のみ有効です。
ネットオークション、フリーマーケット、リサイクルショップなどにより、第三者から有償無償を問わず譲渡を受けた製品につきましては、本保証は適用されません。

問合せ先

ピジョンタヒラ株式会社
ピジョンタヒラ(代表)

TEL **03-3661-4371**

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-4 ピジョンビル
ピジョンタヒラホームページは

<https://www.pigeontahira.co.jp>